大阪 歯科
保険医新聞

12/5
2017年第1285号
（毎月5、15、25日発行）

大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

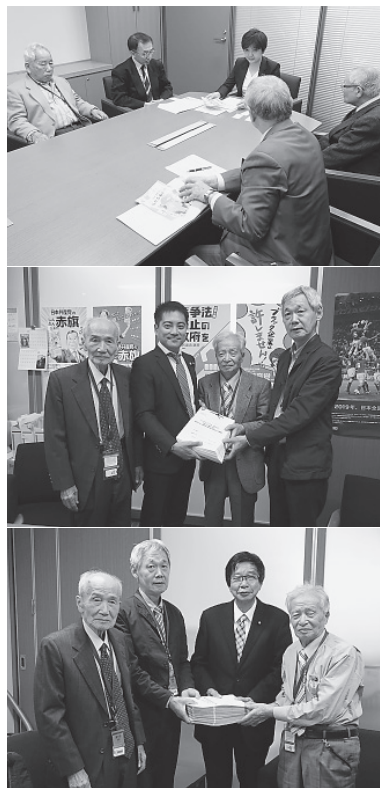
11・16中央行動

診療報酬の引き上げ必要

衆院選後の国会へ要請

財務省が診療報酬2・5％以上のマイナス改定を主張するなか、協会は衆院選後の国会へ歯科医療の充実を訴えるため、全国保険医団体連合会（保団連）が11月16日に主催した中央要請行動に参加した。「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名1万2283筆と、診療報酬増・窓口負担減を求める歯科医師署名を持参し、大阪選出の国会議員へ要請した。（3面に関連記事）

長尾議員　森山議員


尾辻議員　辰巳議員　大門議員

協会は与野党の議員・秘書に「国民の健康増進や医療費削減のためにも、歯科医療の予算を増やすべきだ」「子どもだけでも矯正を保険に適用してほしい」などと要請。診療報酬の引き上げや保険範囲の拡充、患者負担の軽減を訴えた。

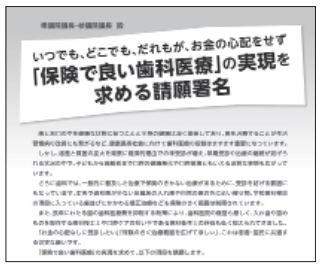
面談した議員は、「要請内容は理解できるが、プライマリーバランスから見ると消費税の引き上げはやむを得ないと考える」（自民・長尾敬衆院議員）、「歯科の重要性はよく理解しているし、民主党政権時代には改定率を医科より引き上げた。歯科医療の充実をめざしてがんばりましょう」（立民・森山浩行衆院議員）、「保険の効く範囲の拡大、診療報酬の引き上げなど歯科の現状は十分承知している。紹介議員は個別に判断できないが前向きに検討したい」（同・尾辻かな子衆院議員）と話すなど高い関心を示した。

「保険で良い歯科」署名の紹介議員を引き受けた大門実紀史参院議員（共産）と辰巳孝太郎参院議員（同）は、「歯科の診療報酬は不当に低く抑えられている。抜本的な引き上げが必要」「子どもの歯列不正問題は将来の健康に大きく関わる。与野党問わず連携して対応していきたい」と話した。署名は大門議員と辰巳議員、山下芳生参院議員（同）秘書に各3千筆、宮本岳志衆院議員（同）秘書に3283筆を託した。

また、協会は同日に国会議員会館で開かれた診療・介護報酬の引き上げを求める集会（ドクターズ・デモンストレーション実行委主催）に参加。全国から医療関係者が集まり、マイナス改定の阻止と診療報酬の大幅な引き上げなどを訴えた。衆参国会議員27人が発言やメッセージを寄せた。

（次号に要請議員一覧）

署名を協会まで
保険で良い歯科　12月国会へ


衆議院議長・参議院議長　殿
いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず
「保険で良い歯科医療」の実現を
求める請願署名

11月末の期限で取り組んできた「保険で良い歯科」署名を12月に国会に届けます。協力いただいた署名がお手元にありましたら、協会までお送りください。返信封筒が必要な場合は協会まで（06-6568-7731）

「か強診」の抜本的改善を
保団連近畿ブロック　歯科・介護報酬で厚労省要請

要望書を保険局・大平貴士医療課主査（右）に手渡す吉田氏（左）、川村氏（中央）＝11月9日、国会会館

保団連近畿ブロックは、「か強診」などの歯科診療報酬、介護保険の電子レセプト義務化問題でそれぞれ改善を求めて11月9日、厚労省へ要請した。大阪歯科協会の吉田裕志副理事長、兵庫協会の川村雅之副理事長らが参加した。

質高まらない

不合理な施設基準の問題など13項目の歯科診療報酬改善について、保険局医療課と懇談。吉田氏は、「か強診」の届出医療機関に認められている加算点数や処置は、すべての歯科医療機関で提供可能な医療行為であり、「施設基準の要件によって質が高まるものでもない」と指摘した。高齢化が進み地域包括ケアが求められる地域ほど、病院歯科が近隣になく、歯科衛生士の雇用も困難な場合が多いと述べ、「施設基準の要件が医療提供の地域間格差を拡大している」と抜本的な改善を求めた。厚労省は、「見直しの必要は、様々なところからご指摘があり検討したい」と回答した。

吉田氏は「医管Ⅱ」について、モニタリングが必要な患者が多い地域ほど、歯科衛生士が就業しておらず、ミスマッチが起こっていることに言及。「医科と同じように『検査』に位置付けて施設基準を取り払うべきだ」と主張し、当面、歯科衛生士の常勤の規定だけでも外すよう求めた。

医科・歯科間や多職種間の「連携」について、歯科では低点数の「連携評価」を新設する動きがあることに触れ、「周術期の管理を医科・歯科共同で実施するための情報提供などは、情Ⅰで正当に評価すべきだ」と牽制した。

電子レセ免除を

来年4月からの介護報酬の電子請求義務化について、免除届を来年4月以降も受理するよう、老健局へ要請した。吉田氏は、医科・歯科ともに居宅療養管理指導費を算定している医療機関のほとんどが紙媒体で請求していると指摘し、「義務化をすれば多くの医療機関の介護保険請求権を侵害することになるばかりか、義務化で介護報酬を諦める医療機関がでれば国民の受療権も奪うことになる」と訴えた。

署名次々　梅田

署名を呼び掛ける辻本勝副理事長＝11月18日、梅田

負担引き下げ訴え
保団連近畿ブロ役員ら

保団連・近畿ブロックは11月18日、大阪駅前第4ビル前の歩道で「保険で良い歯科」署名を呼びかけた。各協会から23人が参加した。各協会の役員らがマイクを握り、「窓口負担を引き下げよう」と訴え。署名入りのポケットティッシュを配布した。署名49筆が集まった。

共済部

保険医年金・一時金の年内着金について

一時金の年内着金をご希望の方は、所定の請求書を12月14日（木）協会必着でお送り下さい。受取額が1000万円以上の場合は、本人確認書類として「運転免許証」もしくは「健康保険証」の両面コピーが必要です。なお、一時金着金が年始でも、保険会社が12月29日に支払い手配した分は今年の所得となりますのでご注意下さい。

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部　06-6568-7467
共　済　部　06-6568-7438

歯界

人の話を聞くことは民主主義の出発点だろう。格差と貧困は人類の最大の課題である。大きな課題の解決には強力なリーダーシップや独裁ではなく、時間がかかっても民主主義のシステムが有効なはずだ。

以前、「猫でも飼いたい」と私がつぶやくと、清潔好きの妻は「私が死んでからにしてよ」と毒づいた。そんな折、学生時代に下宿で飼っていた息子が、卒業後に猫とともに帰阪した。猫は我が家の権力構造をすぐに理解し、妻にプレゼントを考えた。どこかでカエルを捕まえてきて献上した。妻の悲鳴に当惑した猫はもっと「豪華」な贈り物を考えた。蛇である。忖度を誤った猫は激怒した女帝に追放されそうになった。

欧米で花開いた民主主義は議会制度を発展させアフリカやアジアの国々にも根を下ろしてきた。安倍首相は行政監視の役割を持つ野党の質問が嫌いのようだ。議会軽視の暴走を止めるのも民主主義の力に違いない。